

報道関係各位

2014年3月1日

株式会社ヤナセ プロゴルファー宮里 優作選手とスポンサー契約を締結

株式会社ヤナセ（社長：井出 健義、東京都港区）は、プロゴルファー宮里 優作選手と2014年3月よりのスポンサー契約を締結しました。

宮里選手は2003年にプロデビュー、その後、国内外ツアーで活躍を続け、昨年12月には念願のツアー初優勝を飾りました。2014年国内ツアーでも、さらなる活躍が期待されています。

ヤナセは、礼儀正しさに代表される宮里選手のスポーツマンシップに加え、トーナメントにおける粘り強さ、あきらめないタフさなど、挑戦し続けるプロ選手としての姿勢に共感し、活動を支援することとしました。

ヤナセは今後、宮里選手の名前および肖像を使った広告／プロモーション活動の権利を獲得し、宮里選手はYANASEロゴをキャップに付けて2014年ツアーに参戦します。またヤナセは、全国ネットワークを活用して、国内ツアーでの移動車両を提供します。

◆ 宮里 優作 選手 プロフィール

1980年6月19日生まれ（33歳） 沖縄県出身/身長170cm・体重70kg

・経歴：大阪桐蔭高校－東北福祉大学

・宮里3兄弟の次男。兄にツアー1勝の聖志、妹に海外ツアーで活躍する藍をもつ。

・アマチュア時代に日本学生3連覇を成し遂げるなど、輝かしい成績をもって2003年4月にプロデビュー。プロ11年目の2013年12月「第50回 ゴルフ日本シリーズ JTカップ」でゴルフ界全体が待ち望んだ初優勝を飾る。

・現在は、日本ゴルフツアー機構（JGTO）選手会の副会長に就任し、プロゴルファーとしての活動の他にプロゴルフの発展やPRにも寄与しており、選手、スポンサー、そしてファンから愛されている選手のひとり。

◆ ヤナセについて

2015年に創業100年を迎える株式会社ヤナセの歴史は、1915年に梁瀬商会（当時）が米国から輸入し横浜港に陸揚げした1台のビュイックに始まります。ヤナセはその後一貫して日本のモータリゼーションの発展に努め、キャデラック、ビュイックなど米国車やメルセデス・ベンツ、フォルクスワーゲンなど欧州車を日本市場に紹介してきました。ヤナセはお客さまが安心して輸入車にお乗りになれるよう国内全域をカバーするアフターサービスネットワークをいち早く整備し、またパーツセンター設置による迅速かつ確実な部品供給体制を構築しました。1967年に輸入車初の保証中古車制度を開始したのもヤナセです。ヤナセは、「クルマはつくらない。クルマのある人生をつくっている。」の企業スローガンのもと、優れた商品を取り揃えつつ、お客さまとの親密関係の強化に努めています。また、整備技術を高め、安心と信頼のカーライフをお客さまにご提供できるよう、ヤナセネットワークの充実を今後も図ってまいります。

<プレス発表会当日の写真>



(ヤナセ 井出 健義社長と宮里プロ)



(ツアーでの移動車両のサポートを受ける)



(宮里プロ1ショット)

<宮里 優作選手のコメント>

普段からお世話になっているヤナセさんからスポンサー契約をして頂いて、光栄に思います。

ツアーでの車の移動などサポート頂けるということで、大変心強いです。

ヤナセさんの強力なバックアップがあるので、ツアーにも安心して臨めると思います。

今年の目標は、ツアーで複数回優勝することなので、ぜひ実現させてスポーツの良さや、

ヤナセさんが取り扱う車の良さを皆さんに伝えられたらと思っています。